

NIAES トピックス

つくば科学フェスティバル2015 国際土壌年にちなみ「土の不思議」を出展

10月31日(土曜日)と11月1日(日曜日)に、つくばカピオ(茨城県つくば市)で「つくば科学フェスティバル2015」が開催され、農業環境技術研究所は、「土の不思議」というテーマで出展しました。

つくば科学フェスティバルは、青少年が楽しみながら科学の楽しさや大切さを学ぶ機会として、つくば市などが毎年開催しているものです。2015年も、市内の多くの研究機関や

学校・団体が、科学実験や体験・展示などを実施しました。農環研は、研究所のは場に穴を掘って採取した高さ6mに及ぶ巨大土壌断面標本(土壌モリス)を中心に、さまざま



な種類の土壌モリスの展示と解説をおこない、土壌生物の観察を楽しんでいただきました。

また、となりのブースでは、つくば市立茎崎中学校との共同企画として「光る泥だんごをつくりう!」を出展し、科学部の生徒たちがたくさんの来場者に、光る泥だんご作りを指導しました。これは、つくば市が進める研究所と学校との連携企画の一環として、土壌に関する出前レクチャーをおこなった成果です。

(広報情報室 広報グループ)



NIAES トピックス

農環研サイエンスカフェ おはようからおやすみまでに潜むリスク

1月17日(日曜日)、第8回 農環研サイエンスカフェをつくば総合インフォメーションセンター(交流サロン)(BiViつくば2階)で開催し、有機化学物質研究領域の永井孝志 主任研究員が、23人の参加者と、日常生活のリスクについて話をしました。

会場では、リスクに対する感じ方を参加者に聞いたりしながら、たとえば、食生活では塩分のとりすぎや肥満などが大きな死亡リスクであること、家庭内では入浴のリスクがとくに大きいこと、リスクの感じ方はさまざまな心理的な要因で左右されることなどが紹介されました。アンケートでは、「リスクについての考え方、見方が変わっておもしろかった」、「恐怖



リスクの大きさと受け入れの可否を直感で選んでもらいました

そのものが大きなリスクであることに驚いた」など、さまざまな感想をいただきました。また、「化学物質のリスクについて知りたかった」という要望も複数寄せられ、今後の企画の参考にしたいと思います。

(広報情報室 広報グループ)

NIAES トピックス

アグリビジネス創出フェア2015

「アグリビジネス創出フェア」は、農林水産・食品分野の研究成果を広く社会に普及させるため、研究機関と他の研究機関・民間企業との連携を促す場として、農林水産省が毎年開催しているものです。今年度は11月18日(水曜日)から3日間、東京都江東区の東京ビッグサイトにおいて開催され、148機関からの出展、3万5千人の参加者(主催者発表)がありました。農業環境技術研究所は、このフェアの後援団体として出展し、日本及び世界の食料生産変動予測、環境保全型農業の生物多様性保全効果の評価手法、カドミウムを



吸収しないイネ品種の開発、農地土壌の放射性セシウム濃度推定図などについて、パネルや実物展示により紹介しました。

(連携推進室長 中野 正久)